

報道関係者各位

2008年6月26日(木)

最先端の色彩学をデジタルハリウッドで研究 & 学べる

デジタルハリウッド大学

最先端の色彩学を研究

【先端色彩研究室】を開設

デジタルハリウッド渋谷校

最先端の色彩学を学べる

【先端色彩講座】7月開講

IT関連及びデジタルコンテンツの人材育成スクールと、ITビジネス・英語 / 留学・クリエイティブを学ぶ4年制大学を運営するデジタルハリウッド株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:藤本真佐、学長:杉山知之)は、4月に「先端色彩研究室」をデジタルハリウッド大学内に開設、7月より新しい色彩学を伝える新規講座「先端色彩講座」をデジタルハリウッド渋谷校(専門スクール)で開講いたします。

研究室の代表ならびに講座の教員は、当大学とスクールで教鞭をとる南雲治嘉(株式会社ハルイメージ代表取締役)が務めます。

先端色彩研究室とは

設立年月日:2008年4月1日

所属:デジタルハリウッド大学

研究室長:南雲治嘉

(南雲治嘉コメント)

色による占いや心理テストなど、実際の根拠はありません。また、マンセルカラーシステム(1)やPCCS(2)は、カラーシステムの代表ですが、これらのシステムの根拠も曖昧なまま構築されたものがあります。実在するかのような色相環もゲーテによる創作であり、それを基に作られた色立体も実は架空のものなのです。

色は電磁波であり、素粒子であるところに色の科学的根拠があります。色は素粒子としての性質に支配されており、そこから新たなカラーシステムを構築することが、急務と考えます。

近年、脳科学や物理学(素粒子論)の進歩により、さらに色の本質が明らかになりつつあります。

本研究室は電磁波としての色と脳、そして生理との関係を踏まえた色彩を「先端色彩」と呼び、その研究を推進するのが「先端色彩研究室」の役割と考えます。国内外の大学やメーカーの研究所との連携により、新たな「色彩生理学」の樹立を図り、使うための色彩とデジタル色彩に重点を置き、啓蒙と普及活動を展開致します。



- (1)色を数値的に表すための体系(表色系)の一種で、色彩を色の3属性(色相、明度、彩度)に基づいて表現するもの。
- (2) 日本色研配色体系 Practical Color Co-ordinate System の略で、色彩調和を主な目的としたカラーシステム色の表示方法として、三属性の記号表示方法や、系統色名での表示方法があるがもっとも特徴的な方法として、明度と彩度を「トーン」という概念でまとめ、「色相」と「トーン」の二系列で色彩調和の基本系列を表す表示方法。

[参照文献]

「色の新しい捉え方」(6月17日、光文社より発刊) 南雲治嘉 著

本書は先端色彩を分かりやすく解説し、これまでの色彩論を覆すものになっています。

先端色彩講座とは

作品の最終的な評価は、色で決まると言われています。ベテランデザイナーがぶつかる壁も、配色によるものがかなりあります。配色能力がますます重要になってきました。これまでの配色には関係のない色彩ではなく、根拠のある色彩、科学的な色彩を先端色彩と呼んでいます。本講座は、色彩を感覚的なものに終わらせず、説明のできる根拠を身につけることができます。配色能力をアップし、色を使いこなしたい方にお勧めの講座です。

【先端色彩講座 概要】

初回開講：2008年7月3日(木)19:00～

第二回開講：2009年1月29日(木)19:00～

日 程：毎週木曜日：19:00～22:00

期 間：3ヶ月 計 36時間

校 舎：デジタルハリウッド渋谷校

価 格：【一般の方】147,000円

【在校生・卒業生の方】115,500円

定 員：20名

【南雲治嘉 紹介】

株式会社ハルイメージ代表取締役、グラフィックデザイナー

金沢美術工芸大学産業美術学科卒業。大学卒業後、教師として教鞭を執る一方で、フリーのグラフィックデザイナーとして活動する。執筆活動にも力を入れ、ベーシックデザイン、デザイン理論、表現技術、色彩などの分野で、研究と実戦の仕事をする。2004年に執筆した「常用デザイン」はデザイン理論の集大成と言える。1990年に株式会社ハルイメージ設立しデザイン活動にも力を入れる。デジタルハリウッド(専門スクール)ではイメージビジュアルの授業を担当。2005年よりデジタルハリウッド大学教授として色彩論や発想論を担当。2006年光文社より出版した「100の悩みに100のデザイン」はベストセラーに。

【先端色彩講座のお申し込み先】

デジタルハリウッド渋谷校 担当：山本、原

URL: <http://www.dhw.co.jp/shibuya/>

mail: shibuya@dhw.co.jp

TEL:03-5459-4500(平日 10:00～22:30)



【当プレスリリースに関するお問い合わせ、取材申し込み先】

デジタルハリウッド株式会社 広報戦略部 広報 PR グループ: 川村

mail:press@dhw.co.jp

TEL: 03-5281-9248 FAX: 03-5281-9229